



新潟、長野で震度6強

家屋倒壊、原発停止も

2人死亡、けがが200人超

M6.8 土砂崩れ道路寸断

十六日午前十時十三分ごろ、新潟県上中越沖を震源とする強い地震があり、新潟県柏崎市、長岡市、刈羽村、長野県飯綱町で震度6強、新潟県上越市、小千谷市などで震度6弱をそれぞれ観測した。その後も最大震度3の余震が続いた。家屋倒壊などが相次ぎ、柏崎市の柏崎中央病院によると、女性二人が死亡。新潟、長野両県で負傷した人は共同通信の午後一時二十分現在の集計で二百人を超えた。



地震で倒壊した新潟県柏崎市内の寺院＝16日午前11時ごろ

東京電力柏崎刈羽原発の2、3、4、7号機が緊急停止。3号機外の主変圧器で火災が発生し、職員らが消火した。放射線の測定値に異常はないという。

気象庁によると、震源の深さは約一七キロ。地震の規模はマグニチュード(M)6.8と推定される。

新潟県警や柏崎消防署などによると、柏崎市内で数十棟の家屋が倒壊。

けが人は刈羽郡総合病院に百人以上が搬送されたほか、柏崎病院などに数人から数十人がそれぞれ運ばれた。家屋の下敷きになり、一人が意識不明の重体となっている。

JR東日本によると、上越新幹線や新潟県内の在来線は線路や車両の確認などのため、運転を見合わせた。東北、長野、山形、秋田各新幹線も一時運転を見合わせ、午前十一時前に再開した。

東日本高速道路会社などによると、新潟県内を中心に北陸、関越、上信越各自動車道の一部区間が点検のため通行止めになった。新潟県内の道路では土砂崩れが多数で発生した。

